

## ■一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 理事会 議事録

日時：令和5年1月16日（月）19：00～

場所：Web 会議

吉満・藤田・福永・西・柳田・黒木・住吉・坂下・日高・永山・小澤・田中・深見・安藤

欠席者：峯戸松

### 報告

#### 報告事項 1

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：会費納入状況について

内容：1月16日現在 総会員数1160名中1056名（91%）納入済み  
2年未納者21名 強制退会者名簿を添付します。

#### 報告事項 2

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：退会者について（4名）

内容：大塚信行（オツカ ノブユキ）風の街 377 退会理由記載なし  
嶋田彩矢子（シマダ サヤコ）川内市医師会立市民病院 67706 熊本へ異動  
松元愛梨（マツモト アイリ）スマイル放課後デ イックススマイル 90188 OT 離職  
上野佳菜美（ウエノ カナミ）自宅会員 66655 退会理由記載なし

#### 報告事項 3

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

報告：後援依頼について

内容：鹿児島高次脳機能研究会よりの後援依頼を承諾しました

#### 報告事項 4

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報告：県学会

内 容：1. 第33回鹿児島県作業療法学会（回数について要確認）

- ・令和6年度に予定
- ・学会長の選出を検討中

#### 報告事項5

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報 告：学術誌：

内 容：

1. Vol.29：新規投稿数：0件 著変なし

現在：採択1件、査読中1件

特集テーマ：地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割

記事1：地域包括ケアシステムにおける作業療法の実践

執筆者：肝付宏人 氏（みなと病院）

記事2：地域で求められる作業療法士とは～理学療法士の視点から～（案）

執筆者：白濱 氏（株式会社 和月）

記事3：地域で求められる作業療法士とは～作業療法士の視点から～

執筆者：住吉賢一 氏（池田病院）

特集記事3つのうち2つは投稿あり、校正中。

令和5年3月に発刊予定

2. Vol.30：特集：（案）離島で開催した県学会に関すること（九州作業療法学会など）のテーマにできないか検討中

#### 報告事項6

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報 告：研究支援事業：

内 容：

1. 研究法研修会

① 第5回研究法研修会：エキスパート向け

タイトル：私の臨床研究 上肢運動麻痺回復への挑戦 ～エビデンス構築・効果拡大をもとめ～

開催日時：令和5年2月3日（金）19時30分～21時

講 師：野間 知一氏（日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科）

※現在参加者は15名

2. 研究相談会：案内を広報中

応募なし

3. 課題研究助成制度：進行継続中

研究助成承認：加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ：中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間：令和4年6月～令和6年5月まで 制度を実施中

進行中

#### 報告事項7

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

報告：学術部コンテンツ

内容：

- ・コンテンツ部はビデオライブラリのダイジェスト版を作成予定

#### 報告事項8

提出者：日高俊和

士会内での立場：北薩支部理事

報告：研修会報告

内容：

##### 1. 研修会報告

タイトル：公開講座 配慮を要するお子様への支援について

開催日時：令和5年1月14日（土）14:00～16:00

場所：神村学園専修学校 ハイブリッド研修

講師：児童発達支援事業 BLUE PLANETS 代表 作業療法士 吉村克己氏

参加申込人数：対面11名 リモート24名 合計35名

参加人数：対面10名 リモート21名 合計31名

アンケート結果：回答数31名 満足した80% やや満足した20%

回答理由：具体例やエピソードを話してくれてわかりやすかった。親の悩みに対する対処法を具体的に聞いた。子どもとの接し方もわかりやすく、すぐに実践できそうでした。聞き取りづらい場面があったので改善していただけたらと思います。他複数

#### 報告事項9

提出者：

士会内での立場：

報告：

内容：

## 議案

### 議案 1

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：他団体から支払われる講師報酬について

前回の理事会で講師報酬は満額が支払われることに決定したが、県協会を通すと振込手数料や事務員の負担が増えるため、公文書に謝金額を記載してもらい、先方から直接講師へ振り込む形としたい。仮に講師報酬が一旦県協会に振り込まれても源泉徴収税は発生しないようです。

決議事項：いつから？ 本日理事会以降は以下のようにする

他団体の講師報酬について 先方から10万、協会に支払いがあったとしても、規程に則り支払う（他団体主催の講義の場合、「OT 会員半額」は適応されない）

例. 他団体から2万円報酬振り込み 60分の講義 講師規程B（12000円/60分）であるため 12000円源泉徴収含むと13364円

余剰金（20000円-13364円）は県協会の収入になる その場合は税金を納める必要あり

他団体からもらった金額が規程の金額より少なければ、上乘せして講師に渡す

### 議案 2

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：代議員総会について

- ・5/15～26（19時～21時）のいずれかで開催予定
- ・3月下旬までに理事の出席可能日を確認し、最多の日日にちに決定
- ・議案書は4月中旬から業者とのやり取りを開始し、4月下旬に完成とし、5月上旬に発送予定

決議事項：近日中に日程調整 上記スケジュールで準備していく

### 議案 3

提出者：田中有貴

士会内での立場：事務局長

議案：県オリについて

- 5/28(日)9時30分から開催予定
- 各会場について確認：鹿児島市、北薩、大隅、奄美
- 各会場での入会受付について スタッフが多くいる
- 対面開催時に例年行われていたマナー研修は中止
- 新体制での関係部署の確認

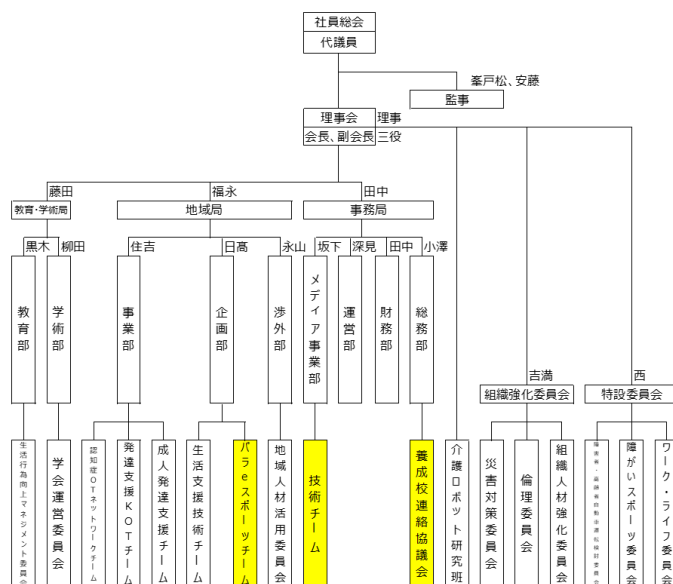
決議事項：12月理事会のB案（本会場＋サテライト会場）で実施  
リーフレット共有 受付9時

(案)

サテライト会場 インターネット環境 パソコン プロジェクター、スクリーン スピーカー マイク  
会場候補 鹿児島市 鹿児島大学（本会場）、北薩 神村学園、大隅 リナシティー鹿屋、霧島始良？ 奄美、種子島は設けない

→teams で確認を行っていく

研修について →研修をするのであれば一会場に集まる 賛成多数にて研修実施



新部局の役割

- 事業部：3チームの研修会、会議の運営
- 企画部：2チームの研修会、会議の運営
- 渉外部：POS連絡協議会や市町村との連絡
- メディア事業部：広報、オンライン研修会や会議のサポート
- 運営部：講師登録や講師派遣
- 総務部：養成校とのやりとり、会員のサポート事業（報酬改定、困りごと対応）

#### 議案 4

提出者：田中有貴

士会内での立場： 事務局長

議案：休会について

柳 礼佳（南薩ケアホテル） 育児 R5 年度休会申請

脇田 孝輔（ライフハーバーいちき） 育児 R5 年度休会延長

廣橋 大和（松元病院） 転職のため（詳細不明）

（補足）※休会規程 育児、病気療養、介護なら可

※休会手続きの手順

問い合わせ、電話で受付 事務局から返信用の書面を送る

決議事項：3名の休会を認める

休会手続きのフローチャート作成、休会対象者に更新確認の通知をどうするか、など今後検討していく

#### 議案 5

提出者：住吉 賢一

士会内での立場：大隅支部理事

議案：協会の事業参画について

- ・組織編成に伴い、来年度より地域部局としての事業が行われない旨を支部会メンバーへ報告
- ・支部の Teams チャンネルは継続し、協会からの情報配信や意見交換等の相談窓口、チャットを活用してのコミュニケーション手段として活用していただく事とした  
(支部員の方々を窓口として所属機関へも配信していただく、メーリングリスト等も活用し大隅半島の医療機関などへの情報配信も今後は検討)
- ・支部制は廃止になるが、今後も協会の事業へ参画していきたいとの意見も聞かれたため、希望があれば各部局、チームへご紹介する事は可能であると回答
- ・各部局やチームの活動内容や事業内容について情報を得る事はできないかと意見があり協会の活動へ協力してくださる人材の拾い上げ、協会の活動へ参画しやすい環境作りにも繋がるのではないかと
- ・協会としてチームや部局の活動を紹介し(HP 等)、希望の部局やチーム等へ登録できるような体制を構築する事はできないかと

決議事項：

- ・各支部局の活動の紹介 youtube のページに動画はアップされている  
→次年度組織改変があるため、動画更新する必要はある

今まで協会活動に参画していただいた方、これからも継続していただくのは嬉しい

組織改変について、吉満会長から説明する動画を作成  
オブザーバーとしての会議参加を許可する →部局、会議の日時 小澤さんに伝える  
部の勧誘動画? youtube カテゴリ分け

#### 議案 6

提出者：藤田 賢太郎

士会内での立場：副会長

議案：平成 22 年より、高次脳機能障害家族会ぷらむ鹿児島への支援活動を鹿児島医療技術専門学校で毎週水曜日に実施してきた。ところが、コロナの影響等で3年ほど活動できていない。本活動を今後どうするか検討頂きたい。(2021年に日本高次脳機能障害友の会全国大会で活動を報告しております。別途添付)

決定事項：受け皿である鹿児島医療技術専門学校の人員の制約もあり支援の継続も難しい。

今後は側面的な関わりを行っていく方針とする。

#### 議案 7

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当

議案：鹿児島県作業療法士協会と鹿児島県作業療法学会のホームページに関して「作業療法鹿児島」の投稿規定について多くの方に周知できる案内について検討した。

現在「作業療法鹿児島」の投稿規定が県学会の m3.com に掲載している。

これを「県協会ホームページ」→「鹿児島県作業療法士協会について」→学術活動の欄に追加掲載したい。

決定事項：広報部に情報収集していただき次回の理事会で検討する（持ちこし議案）

#### 議案 8

提出者：小澤孝典

士会内での立場：総務部事業調整係

議案：令和5年度の事業計画案を作成。内容を精査したい。

※各担当理事より内容説明予定

決定事項：

#### 議案 9

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部担当

議案：来年度の全国訪問リハビリテーション振興委員会担当、POS 協議会推進リーダー研修会担当、生活行為工夫事業担当の所属について。これまで、各担当は地域リハ推進部に所属しており、各チームか

らの選抜ではなかった。これらを以下の部に割り振りたいが、如何か。

- 全国訪問リハビリテーション振興委員会担当 ⇒ 渉外部へ
- POS 協議会推進リーダー研修会担当 ⇒ 渉外部へ
- 生活行為工夫事業担当 ⇒ 企画部へ

#### 議案 10

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部担当

議案：次年度計画において、各 5 チームとそれぞれ会議を実施した。その中で、成人発達支援チームのあり方について以下の意見となった。

- 成人発達というワードが何を指すものかわかりづらい
- チームメンバーが少ないため、チームを集めたい。
- 成人発達の主軸として就労支援分野（精神科も含め）をメインとして活動していったらどうか
- 今年 2 月の研修を以下の通りとする

テーマ：就労支援の実際 ～専門職に求めるもの～

日 時：令和 2 年 2 月 27 日 19:00~20:00

講 師：西真人（株式会社 Whom Lab 代表 サービス管理責任者）

場 所：ZOOM

#### 【その他】

- ・財務部からのお願い

令和 5 年度 事業収支予算書への入力を 1 月末までにお願いします。

担当理事は、各部局の部長、委員長、リーダー長への案内をお願いします。

- ・事務局からの確認

会議費導入による臨時総会の開催について

次回会議：2/20（月）19：00-